

明けまして おめでとうございます

根羽村の空き家活用



地域おこし協力隊

出身

埼玉県 熊谷市

誕生日

2000年3月22日

根羽村歴

9 ヶ月

根羽村の好きなところ

- ・ 桧原から新井・田島に入った道の開かれた視界

2024年は！

- ・ 空き家を使い資源に
- ・ 何かを始める

白根拓実の紹介Vol.2

何にでもまずは始めてみる
ということをして、大事に
して、興味関心は何にでも
強いと思います。趣味も多
く熱中度は高いですが、何
かを極めることは少し苦手
で目移りします。

携帯：080-7891-5731

自分の地域がワクワクする、愛着が湧く、暮らしが豊かになるということ
を軸に活動しています。モノやコトに価値を見出すことが好きです。
大学時は、都市計画を軸に学び地元熊谷で空き家を活用した拠点（太
原堂：シェア本屋）を作り、本屋の店主になりました。根羽村でも活動
拠点を作るべく、現在若松旅館を活用する企画をスタートしました。
よろしくお願いします！！

空き家所有者/利用者の相談対応を！



空き家相談窓口の話

今月の相談窓口では、空き家所有者に向けた空き家状況アンケートの集計と空き家利用者の対応を一件行いました。今回アンケートを送付した件数は百二十二件で、十二月締めアンケート回答は四十八件となりました。

アンケートで、空き家所有者さんの今後の意向をまとめ、空き家利用者への案内へと繋げていく予定です。空き家に対しての困り事は様々ある中で、このようにアンケートの回答をしてくださり、一つのアクションになったことはとても良い結果となったと思います。

そして、空き家の所有者・利用者、もちろん地域の村民の方々が最適な方法で、根羽村と繋がることできるよう、相談窓口としての機能を進めていきたいと思っています。

空き家のすすめ

Vol.7
2024.1.10

空き家を開ける(旧・若松旅館)



「空き家を開けるプロジェクト」実際に私が空き家を活用する第一号物件として、下町地区のご理解を得た、153号沿いにある【旧・若松旅館】の活用を計画しています。

十二月に入り、地元大工さんの助言をいただきました。改修に着手することができました。

内容としては、壁の壊しと床の撤去や片付け等を行いました。空いた時間を使い、一人で少しずつ改修を行なっていますが、体力・時間・構想と、想像していたより大変でした。

空間を想像しながら改修を進めているので、どのように使用するか、どこまでやろうかなど、考えている時間はとても楽しいですが、なかなか前に進むことが難しいと気づきました。

作業中には、近隣の方々が顔を覗きに来てくださったりや、アドバイスをいただいたり、道具を貸してくださったりと、とても心強く励みを得ながら改修しています。

寒さに負けずに、続けていこうと思います。

2023納まる！？2024へと

コラム的な

令和五年が終わると聞き、令和ってもう五年なんだと実感した今月。今年は私自身、色々悩んでいた時期でありましたが、根羽村に移住というビッグイベントを経験し、根羽村一年生になった年でもありました。根羽村に何故移住をしたのかと、良く聞かれています。が、「根」という言葉が入っていたから移住した、と色々な人に言っていました(私は白根という苗字なので、根繋がりで)。実際に移住を決めたきっかけについては色々あるのですが、一番の決め手は根羽村の人の空気感と、直感から来る莫大な期待感です。うまく言葉にできない、この感覚はとも私の心に響き、令和六年もワクワクすることが楽しみです。

【編集後記】

白根拓実 しらねたくみ

2000年3月22日(23才)

地域おこし協力隊 空き家対策

埼玉熊谷市出身。雪が少しずつ降ってきましたね。今までは、雪が降っているだけでテンションが上がっていたのですが、今では当たり前のように道が凍り、雪が降ると感じるのです。人の順応ってやっぱりすごいなと感じています。何回見ても、夜空は綺麗で最高です。

